



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

放課後児童クラブ指定管理者について 党市議団が緊急申し入れ

12日(金) 日本共産党市議団6名は、石川市長に対して「放課後児童クラブ指定管理者について緊急申し入れ」を行いました。申し入れ後、種村副市長・こども未来部長と懇談しました。

放課後児童クラブの運営は「指定管理者制度」が導入されています。7月に来年4月から5年間の公募がされましたが、これまで20年間も運営してきた市社会福祉協議会が応募しませんでした。

そのことよって、子ども、保護者、指導員の間に大きな不安と混乱が生じています。

そこで、市の責任でこの問題を早急に解消するよう求めるために「緊急申し入れ」を行ったものです。全文は下記の通りです。



種村副市長に「緊急申し入れ」を手渡す党市議団6名 (10月12日)

放課後児童クラブ指定管理者について緊急申し入れ
放課後児童クラブの指定管理者の更新にあたり、20年間の実績を持つ社会福祉協議会が応募せず、子ども、保護者、指導員に大きな不安が広がっています。

先の9月議会では、「市と社会福祉協議会は、ともに児童クラブを運営してきたパートナー」「社会福祉協議会が応募しなかったことは残念」という市の認識が述べられました。しかし、社会福祉協議会の保護者への説明では「指定管理者の応募を前向きに検討し、仕様書を熟読し質問書も提出した」「残念ながら、現状では指導員の確保と費用面で継続は困難と判断し、断腸の思いで断念した」とのことでした。保護者説明会では、「社協が断念せざるを得ない内容で民間がこれまでのような保育ができるのか」「子どもたちのことをよくわかってきている社協の指導員にこれまで通りみてもらいたい」と多くの声が寄せられています。市や社会福祉協議会の都合で、子どもたちが不安になり、慣れ親しんだ指導員と別れなければなりません。さらに、何の落ち度もない指導員が解雇されることとなります。

今回の問題は、市と社会福祉協議会は大切なパートナーでありながら、放課後児童クラブの指定管理者更新にあたり、意思疎通が不十分だったために招いた混乱であると言えます。そのために、子どもたちが犠牲になるようなことがあってはなりません。
市の責任でこの混乱を早急に収束し、子ども、保護者、指導員の不安を解消するために、下記のことを緊急に申し入れます。

記

- 1、混乱を招いている放課後児童クラブの指定管理者の公募を白紙撤回すること。
- 2、来年度以降の放課後児童クラブの運営については、20年間放課後児童クラブを運営し、子どもからも、保護者からも厚く信頼されている社会福祉協議会が継続できるよう、真摯に協議すること。
- 3、今回の事態は、継続性や安定性において問題のある指定管理者制度を放課後児童クラブに持ち込んだことによるものです。したがって、今後、放課後児童クラブへの指定管理者制度の導入はやめること。

うづき武彦議員一般質問



鉄道高架工事の一環として 東西自由通路(地下道)を

9月定例市議会の一一般質問で、①春日部駅に東西自由通路を、②東海第二原発の再稼働に反対を、について取り上げました。

自転車用エレベーターも備えた地下道を

春日部駅の東西自由通路については、これまででも繰り返し取り上げてきました。市は一貫して自由通路建設に背を向けてきました。ところが、連続立体交差事業の説明会で東武鉄道

が「竹ノ塚駅のような地下道を検討している」と答弁したのです。

竹ノ塚駅も現在高架工事を行っていますが、工事の妨げとなる橋上駅や自由通路(歩道橋)を撤去するために仮設地下道を設置しました。歩行者用のエレベーターとエスカレーター、自転車用のエレベーターがあり、改札も地下に造られています。

春日部駅の工事でも、ホームをつなぐ跨線橋が妨げとなるはず。工事のしやすさや工事期間の短縮という点でも地下道をつくるべきです。費用を国や県も負担することになり、春日部市の負担は少なくて済みます。

地下道の設置について考えを質したのに対し、市長は「そういったことも含めて鉄道高架の早期実現に全力で取り組む」と答弁しました。

市として東海第二原発の再稼働に反対を

東海第二原発は運転開始から40年経過し老朽化しています。東日本大震災でも津波で非常用電源が壊れ、大惨事になる寸前でした。首都圏に最も近く、30 km圏内には96万人が住んでいます。

春日部市から100キロしか離れておらず、事故が起これば大きな被害が及ぶ危険があります。福島第一原発事故では、広い範囲で子どもの甲状腺がんが多発(38万人中173人。通常は100万人中1〜3人)しています。

水戸市民9900人の避難受け入れ

事故に備えて96万人の避難計画を策定することになっています。病院に入院している人や施設入所者も含め96万人もが一度に避難することなど非現実的です。

水戸市民4万人を埼玉県が受け入れることになりました。春日部市では何人になるのかとの質問に、担当の部長は、「9900人程度受け入れる方向で検討している」と答弁しました。

春日部市にとっても、大きな影響があることから、市としても再稼働に反対するよう求めました。市長は「地元自治体で議論しているので当市の考えを述べるのは差し控える」としか答えませんでした。

小児救急電話相談#8000

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外

10/21(日) 守田内科医院 (内科系) 南2 Tel737-6300
東1 Tel731-1771

一ノ割クリニック (小児科系) 備
彩都レディースクリニック (外科系) 大枝 Tel731-1103

10/28(日) ほそや内科医院(内科系)下大增新田 Tel733-5200
系)藤塚 Tel457-7722

おかだこどもの森クリニック(小児科
原田皮膚科医院(外科系)大倉 Tel746-7770

休日の当番医